

図書館で情報検索をしてみよう！

すぐに使える情報への道しるべ、データベースとその活用法

「○○に関する図書を読みたい」「△△に関するテーマでレポートを書くのに参考となるような資料が欲しい」など、いざという時に困らないためにデータベースをどんどん使いこなせるようになりましょう。

紹介内容は、Ⅰ. 図書を探す Ⅱ. 雑誌記事を探す Ⅲ. 新聞記事を探す です。

Ⅰ. 図書を探す

図書の所蔵を探して、入手する方法です。

●OPAC（蔵書検索）で学内にあるか調べる

OPAC(Online public access catalog)とは、オンラインで図書館が所蔵している資料を検索するシステムです。図書館内のパソコンで、あるいは学外からなら図書館ホームページから検索しましょう。大学の図書の所在を確実に探すことができます。



●学内になかった場合は？

探している図書が図書館になかった場合は、レファレンスコーナーにご相談ください。学外の図書館を利用するお手伝いをします。他の図書館に資料があった場合、次の利用方法で閲覧したり、入手することができます。

- ① 本学発行の「紹介状」を持って所蔵館に直接行く。
 - ② 所蔵館より資料を取り寄せたり、複写依頼をする。（有料）
- いずれも、レファレンスコーナーで手続きが必要です。お問合せ下さい。

国内で刊行されている図書や所蔵している図書館を探すためのツールを一部紹介しておきましょう。

1. 「NDL-OPAC」 <http://opac.ndl.go.jp/>

国立国会図書館の蔵書目録。国内で刊行されている図書や雑誌の検索ができます。

2. 「Webcat Plus」 <http://webcatplus.nii.ac.jp/>

明治以前の図書から新刊書までの日本語の図書が「連想検索」でき、所蔵している図書館も表示されます。



●参考● 「Books.or.jp」(日本書籍総目録) <http://www.books.or.jp/>

探している図書が購入可能かどうか調べることができます。出版社のホームページやオンライン書店へのリンクもあります。

II. 雑誌記事を探す

関心のあるテーマや著者名から記事を探す方法です。

●記事索引データベース

1. 「MAGAZINEPLUS」

<1階検索パソコン3>で利用できます。

国内最大の雑誌・論文記事のデータベース。一般週刊誌から学術雑誌まで幅広く採録されています。



2. 「国立国会図書館雑誌記事索引」(NDL-OPAC)

<http://opac.ndl.go.jp/>

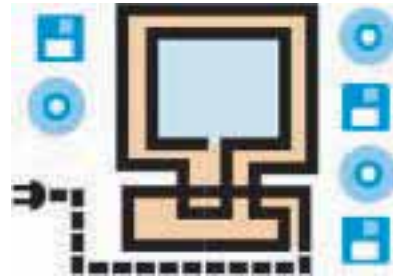
国内で刊行された学術雑誌・紀要を中心に人文科学・社会科学・自然科学の記事情報が検索可能です。



3. 「CiNii(サイニイ)：NII論文情報ナビゲータ」

<http://ci.nii.ac.jp/cinii/servlet/CiNiiTop#>

学協会で発行された学術雑誌と大学等で発行された研究紀要の両方を検索し、検索された論文の引用文献情報を収録しています。



以上のデータベースは情報収集のためのツールですので、記事や論文の全文が見られるわけではありません。(3.「CiNii」は一部可能)

入手したい記事や論文があった場合は、図書館から所蔵館に複写依頼(有料)をしますので、レファレンスコーナーで手続きをしてください。

III. 新聞記事を探す

関心のあるテーマから記事を探す方法です。

●新聞データベース

膨大な量の新聞記事の中から、自分の読みたいテーマの記事を効率よく探すことができます。本学では、以下のデータベースが利用可能です。

1. 「聞蔵(きくそう)」(朝日新聞)

<1階検索パソコン2>で利用できます。

1985年8月以降の記事が検索可能です。



2. 「ヨミダス文書館」(読売新聞)

<1階検索パソコン1>で利用できます。

1986年9月以降の読売新聞と1989年9月以降のTHE DAILY YOMIURI(英字新聞)の記事が検索可能です。



検索方法などについてわからない時は、レファレンスコーナー(1階カウンター)で気軽に相談してください。いつでも皆さんのお手伝いをします。

図書館 HP <http://www.tsc.ac.jp/library/> の「情報検索」ではもっと詳しく説明しています。是非、アクセスしてみてください。



著作権講座 ①



最近、ニュースなどで「知的財産権（私的所有権）」という言葉をよく耳にするのではないかと思います。中国ではディズニーランドにそっくりな遊園地を作り、「知的財産権」の中の一つ「特許権」の侵害で国際的な問題になっていました。皆さんはそれを見聞きし、どのように感じましたか？「減るもんじゃないしいじやないか」なんて思った方はいませんか？それは大きな間違いです。もし、あなたの描いた絵が知らないうちに加工され、販売されていたらどう思いますか？くやしい？かなしい？憤る？よく考えてみてください。

図書館にある本・雑誌・新聞・DVDなどの資料にも「知的財産権」の中の一つ、「著作権」が適用されます。ここでは、図書館と関わり深い「著作権」を取り上げ、「著作権」とはどのような権利なのかをご説明します。

1 著作権って何？

「著作権」とは文化的な創造物を保護の対象とする権利です。そして「著作権法」で保護されています。文化的な創造物とは、「思想又は感情を創作的に表現したものであって、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの」（著作権法第2条第1項第1号）で、これを著作物といいます。そしてまたこれを創り出した人を著作者といいます。著作権は、特許権などとは違い、権利を得るための手続きを一切必要としません。著作物が創造された時点で権利が発生するのが著作権です。

2 保護を受ける著作物

日本の著作権法によって保護を受ける著作物は次のどれかに当てはまるものです。

- 日本国民が創造した著作物
 - 最初に日本国内で発行された著作物
 - 条約によって日本が保護の義務を負う著作物
- 次の著作物は、著作権で保護されることはありません。
- 憲法その他の法令
 - 国や地方公共団体又は独立行政法人・地方独立行政法人の告示、訓令、通達
 - 裁判所の判決、決定、命令
 - ①～③の翻訳物や編集物で国や地方公共団体又は独立行政法人・地方独立行政法人が作成するもの

3 著作物の種類

- * 言語の著作物 論文、レポート、作文、講演、小説など
- * 音楽の著作物 楽譜、楽曲を伴う歌詞
- * 舞踊・無言劇の著作物 日本舞踊、バレエ、ダンス、舞踏など
- * 美術の著作物 絵画、版画、彫刻、漫画、書、舞台装置など
- * 建築の著作物 芸術的な建築物
- * 地図・図形の著作物 地図、学術的な図面、図表、設計図など
- * 映画の著作物 劇場用映画、アニメ、ビデオ、ゲームなど
- * 写真の著作物 写真、グラフィックなど
- * プログラムの著作物 コンピュータ、プログラム
- * 二次的著作物 原著物を翻訳、編曲、変形、翻案（映画化など）し作成したもの
- * 編集著作物 百科事典、辞書、新聞、雑誌、詩集など
- * データベースの著作物 編集著作物のうちコンピュータで検索できるもの

4 著作者の権利

著作者とは「著作物を創造した人」のことです。著作者の権利は「著作人格権」と「著作権（財産権）」の2つがあります。「著作人格権」は著作者が精神的に傷つけられないようにするための権利で、譲渡したり、相続したりすることはできません。一方「著作権（財産権）」は土地の所有権などと同様に、その一部を譲渡したり相続したりすることができます。

5 著作権の保護期間

「著作人格権」は、著作者が死亡すると同時に消滅します。「著作権（財産権）」の原則的保護期間は、著作者が著作物を創造した時から著作者の死後50年です。

- * 実名の著作物（周知の変名含む） 死後50年
- * 無名・変名の著作物 公表後50年
(死後50年が明らかであればその時まで)
- * 団体名義の著作物 公表後50年
(創作後50年以内に公表されなければ、創作後50年)
- * 映画の著作物 公表後70年
(創作後70年以内に公表されなければ、創作後50年)

「著作権」について、あまりかかわりのない様に感じていた方が多いと思いますが、私たちの周りは著作権（知的財産権）で守られた物であふれています。もっと詳しく「著作権」について知りたい方は本学所蔵の著作権に関する資料をご覧くださいか、著作権関係団体のホームページをご覧ください。

次号の図書館だよりでは、「図書館と著作権」と「著作物を利用する方法」についてご説明します。

本学図書館所蔵の著作権に関する資料

- 『著作権が明解になる10章 改訂』出版ニュース社
資料ID：901082998 (021.2|Yos/1階書架)
- 『学術論文のための著作権Q&A』東海大学出版会
資料ID：901087846
(021.2|Miy/1階書架(低層)新書)
- 『表現の自由vs.知的財産権』青土社
資料ID：901086432 (507.2|McL/1階書架)
- * 図書館では、他にも著作権に関する資料を所蔵しています。

著作権関係団体ホームページURL

- 文化庁ホームページ <http://www.bunka.go.jp/>
- 社団法人 著作権情報センター (CRIC)
<http://www.cric.or.jp>
- 日本音楽著作権協会 (JASRAC)
<http://www.jasrac.or.jp>
- コンピュータソフトウェア著作権協会 (ACCS)
<http://www.accs.or.jp>
- 学術著作権協会 (JAACC) <http://www.jaacc.jp>
- * 他にも著作権関係の団体のHPがあります。
インターネットで検索してみてください。



『良妻賢母主義の教育』 深谷昌志著 / 黎明書房

深谷 昌志(子ども学部学部長 教育社会学)

(1階書架 372.1/Fuk)

30年以上昔のことになるが、ある朝、家の電話がなった。出版社からのもので、「秋の学会で発表した内容を本にまとめないか」という内容だった。その頃、定職のないオーバードクターの状態、あちこちの大学で非常勤講師をしながら、大学への就職の機会を狙っていた。そんな無名な若手の研究を出版してくれる。「本当の話なのですか」と何度も念を押した。編集長は、何人かの先輩の名をあげ、そうした先生からの推薦があったと話してくれた。

資料は集めてあったので、翌日から、徹夜を続ける感じで資料の整理を進めた。そして、ほぼ半年で草稿をまとめることができた。そうして刊行されたのが『良妻賢母主義の教育』（黎明書房、昭和41年2月刊）で、博士論文でもある。

実証的な女性史研究という意味で希少価値があったのか、小著は予想を上回る高い評価を受けることができた。そして、刊行されて40年近い歳月が流れているのに、今でも、女子教育史を研究する際の必読文献として扱われることが多い。

小著がきっかけとなって大学への就職が決まり、研究者としての道を歩めるようになった。若い時期に単著を出していると

出版社と話しやすくなる。そうした事情もあって、その後、何冊もの本をまとめることができた。しかし残念ながら、処女作の「良妻賢母」を超えることができないまま現在を迎えている。

「良妻賢母」で世話になった黎明書房から、「子どもの昭和史」の書名で、9月の刊行を予定している。「良妻賢母」の校正してくれた若手編集者が、社長になって、原稿の下見をしてくれた。黎明書房とは一生の付き合いという感慨を抱く。それだけに、今度の本は処女作を越えたいと願っているが、今回も見果てぬ夢になってしまう予感をしてならない。



お知らせ

展示「なぞなぞの歴史」のご案内

現在、子どもたちに人気の遊びとして親しまれている「なぞなぞ」。日本では、古くから上流階級の言葉あそびとしてなぞなぞが行われていました。

その後、時代が流れるにつれて、なぞなぞの内容や形態は少しずつ姿を変えていきました。それぞれの時代に生まれたなぞなぞとともに、その変遷の様子をご紹介します。

【期間】6月26日(火)～7月18日(水)

【場所】図書館1階 展示コーナー

資料のリクエストについて

図書館に、レポートや卒論で使いたい資料がない！などという経験はありませんか？

図書館では、皆さんからの資料のリクエストを受付けています。リクエストの方法は次の2つです。

- ① 図書館HPの「資料のリクエスト」からリクエストをする。
- ② 「リクエストカード」に記入して、ブラウジングコーナーのリクエストポストに投函する。

詳しくは、図書館1階レファレンスコーナーまで…



7月～9月の図書館利用について

★ 夏の特別貸出のお知らせ

次の期間、長期貸出を実施します。

開始日：7月27日

終了日：9月29日

貸出冊数：一人7冊

★ 夏季休業中の開閉館について

夏季休業中（7月30日(月)～9月21日(金)）の図書館の開閉館は次の通りです。

休館日：毎週土曜日・8月13日(月)～24日(金)

開館時間：9:00～17:00

*9月22日(土)からは通常通りの開館になります。